

女性の起業チャレンジ応援事業【福島市】

個別事業費	319 千円
交付金額	239 千円

地域の実情と課題

【実情】 女性の労働力（福島県内と福島市内で比較）

→離職者の1割が出産・育児を理由としている。

【課題】 家事・育児・介護については、依然として女性がその多くを担っており、女性が働きやすい環境づくりや多様な働き方の推進が必要である。

目的・目標

【目的】 起業するために必要な知識の習得、女性起業家や同じ起業の夢を持つ仲間と繋がる機会をすることで、女性活躍の場を広げる。

【目標】 講座受講者数 目標：30名 実績：35名（のべ67名）

事業の特徴

先輩女性起業家（起業姉さん）が起業に関心のある女性（起業妹さん）を応援する「ふくしま起業女子応援パッケージ」として事業を展開する。

- ・チャレンジ講座
- ・起業姉妹カフェ
- ・プチインターンシップ

連携団体

- 福島駅西口インキュベーションルーム
- 包括連携協定企業（主に金融関係）
- 日本政策金融公庫
- 福島商工会議所
- 福島県（ふくしま女性起業家活躍推進協議会）

事業の効果

- 受講者数について、目標値30名としていたが、35名が受講し、起業に関心のある女性の意欲的な姿勢が見受けられた。
- 受講者アンケートでは95%以上の方から「満足・おおいに満足した」との回答があり、生き方や働き方を見つめ直すきっかけ作りができ、女性活躍の一端を担うことができた。

今後の課題

多くの受講者が事業内容に満足しているものの、受講をきっかけに起業への次のステップへ進む方は少ない状況である。準備や起業の決断には数年単位での時間が必要となることから、長期的・継続的な支援が課題である。

姉妹のようにつながる起業チャレンジ [チャレンジ講座]

実施日 9～10月(計3回)

内容 [チャレンジ講座](3回)

- ◆わたらしさの大発見・自分らしいビジネスアイデアの作り方
- ◆ノウハウ学ぶ起業プロセス
- ◆起業時に知っておきたい3つのポイント

講師 ◦キャリアコンサルタント 重巢敦子さん
◦中小企業診断士 相馬由寛さん

受講者数 のべ46名



姉妹のようにつながる起業チャレンジ [起業姉妹カフェ]

実施日 9～10月(計3回)

内容 [起業姉妹カフェ](3回)

- ◆姉さん・仲間との出会い
- ◆オトナの社会科見学
- ◆ワクワク異業種コラボ作戦会議



講師 ◦市内の先輩女性起業家
◦ふくしま女性起業家活躍推進協議会 会長
受講者数 のべ21名

[プチインターンシップ]

補助スタッフとして先輩女性起業家の店舗等で接客や仕事の流れ等を学ぶとともに、その場で感じた疑問をすぐに質問できる機会を提供した。

実施日 10～2月(計1回)

内容 準備・後片付け・レッスン見学 等

体験者数 1名(親子教室)